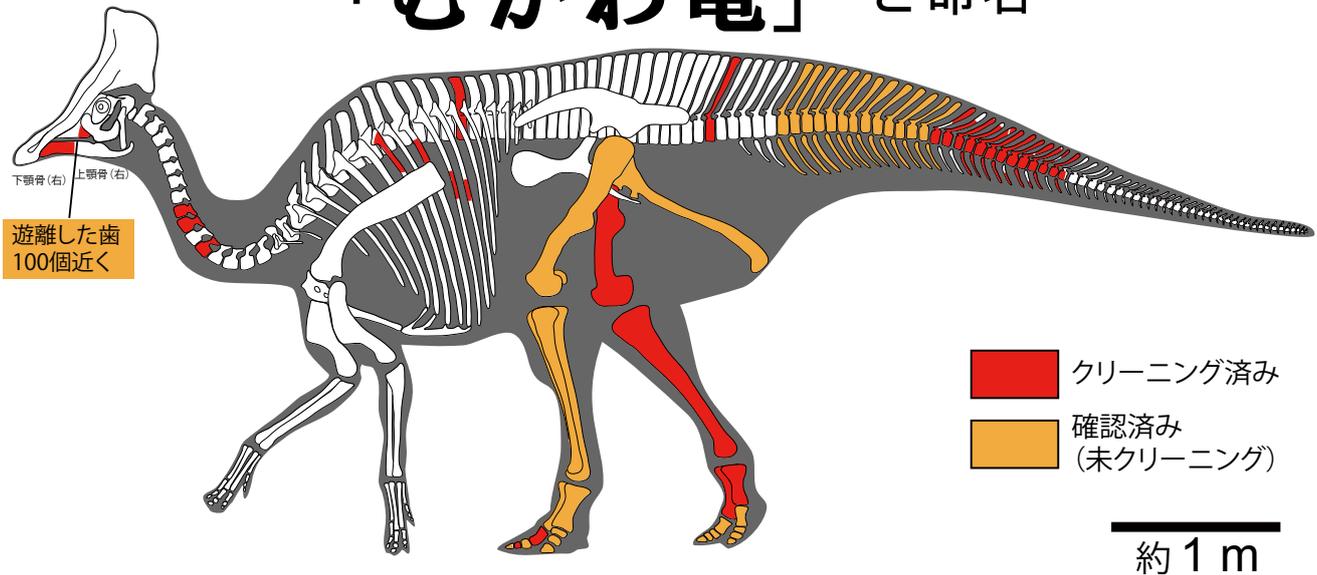




むかわ町穂別産ハドロサウルス科恐竜の通称を 「むかわ竜」と命名



むかわ竜の発見されている部位 (2016年4月発表)
骨格図は同じハドロサウルス科のオロロティタン

2003年に堀田良幸氏によってむかわ町穂別から発見され、2013年と2014年に大規模な発掘を行い、現在も調査・研究中のハドロサウルス科恐竜化石の通称が「むかわ竜」と命名されました(正式な学術名ではありません)。「むかわ竜」は、発見者の意向も踏まえて、むかわ町が命名したもので、12月3日の普及講演会で発表されました。

現在までに、むかわ町からは1個体の恐竜化石が知られていますので、この個体が「むかわ竜」と解釈されます。一方で、今後むかわ町内で発見される恐竜も含め、それらの総称として「むかわ竜」と命名されています。「むかわ竜」という名前には第2、第3のむかわ竜を発見するという、むかわ町の意味が込められています。

普及講演会 恐竜 x 長頸竜 開催

12月3日に普及講演会が実施されました。むかわ町や札幌市在住の方を中心に約120名が参加されました。静岡県から参加された方もいました。



佐藤准教授は、学生の頃に首長竜研究の勉強のため、ホベツアラキリュウを観察されたことや穂別博物館が質・量・種類共に豊富な海棲爬虫類化石が収蔵されていて、それを扱う学芸員などが常駐していることで、外部の研究者にとっても研究がしやすい環境にあるというお話をされました。

佐藤たまき准教授 (東京学芸大学)



小林准教授は、今年の海外での野外調査の紹介と、むかわ竜の価値について講演されました。むかわ竜の研究的価値、教育的価値、資産的価値、広報的価値、経済的価値について説明されました。

小林快次准教授（北海道大学総合博物館）

2016年の調査・研究などでの来館者



小林快次准教授（北海道大学総合博物館）
3/7、10/21、12/3、12/14
むかわ竜の調査を続けています。



佐藤たまき准教授（東京学芸大学）
4/27-5/1、8/25-28、12/2-3
首の短い首長竜などの調査を続けています。



関口修司氏（東京学芸大学）
ほか、8/25-31
首長竜産地の野外調査をしました。



安翔字氏（北海道大学）7/21
首長竜化石を
観察されました。



吉田将崇氏（東京大学）
11/10-11
カメ化石を観察されました。



田中公教氏（北海道大学）12/7
化石の酸によるクリーニング作業を学
びに来ました。



ツオクトバートル・ヒシグシャウ (Tsoigtbaatar
Khishigjav) 館長（モンゴル科学アカデミー、
古生物・地質研究所）12/14
むかわ竜を観察されました。



むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30~17:00 (最終入館 16:30)

観覧料 個人/小~高校生: 100円

大人 300円

団体/小~高校生: 50円

大人 200円

※団体は10人以上 ※小学生未満は無料

2017年1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2017年2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

休館日 ○町民無料観覧日